

課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業（実社会対応プログラム）
公募型研究テーマ 研究概要

課題（研究領域）

人口減少地域社会における安心しうるケア・システムの構築と生活基盤の整備

研究テーマ名

地域社会における生活基盤の持続可能性指標の開発

責任機関

国立大学法人東京大学

研究実施期間

平成27年10月～平成30年9月

研究プロジェクトチームの体制

氏名	所属機関・部局・職名
研究代表者 大西 立顕	東京大学・大学院情報理工学系研究科・准教授
分担者 水野 貴之	国立情報学研究所・情報社会相関研究系・准教授
<u>村館 靖之</u>	東京大学・大学院情報学環・学際情報学府・特任講師，千葉市・統計課・非常勤嘱託職員

※実務者は氏名に二重下線

配分（予定）額

（単位：円）

平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
2,330,000	4,250,000	3,150,000	1,500,000

※平成28年度・平成29年度・平成30年度については予定額

研究目的の概要

人口減少と超高齢化に伴い、住民の生活基盤の弱体化や地方自治体の経営破綻が懸念される状況に至っている。本研究ではそうした社会的混乱を回避するための提言に結びつく高精度・高頻度な定量的指標を実証データに基づいて開発する。

研究計画の概要

時空間ビッグデータを活用して、全国の住民一人一人について、どのくらい離れた距離に商店、病院、学校、避難所、若年層等が存在しているかを計測し、地域社会における生活基盤の持続可能性指標を開発する。地域社会の抱える生活基盤の問題を早期に検知し、自治体の迅速な対応を支援する。